

完了後の評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）		事業実施期間	平成 28 年度～令和 2 年度（5 年間）														
事業実施地区名 （都道府県名）		（ちゅうぶさんがく） 中部山岳森林計画区 （長野県）	事業実施主体	中部森林管理局 ちゅうしん 中信森林管理署														
完了後経過年数		4 年	管 理 主 体	中信森林管理署														
事業の概要・目的		本事業は、長野県北西部に位置する松本市を含む 4 市 5 村に所在する約 9 万 9 千 ha の国有林野を対象としており、本計画区の国有林の 94%が土砂流出防備保安林等に指定されている。 本計画区は、日本列島を東西に分ける「糸魚川－静岡構造線」が南北に走り、地質的に脆弱な上、急傾斜地が多い地域である一方で、山岳地帯は特に優れた自然景観を有していることから、西側は中部山岳国立公園、北東側は妙高戸隠連山国立公園、東側は八ヶ岳中信高原国定公園にそれぞれ指定されており、自然環境の保全と森林のふれあいの場となっている。 森林現況は、人工林 11%、天然林 70%、その他 19%となっており、人工林における樹種別割合は、カラマツ 66%、ヒノキ 22%、スギ 6 %とカラマツが占める割合が高い地域であり、本計画区内の森林面積は、県下森林面積の 22%を占める。 本事業は、本計画区内の国有林の有する水源涵養機能や山地保全機能の公益的機能の持続的な発揮と併せ、木材の安定供給、地球温暖化防止にも積極的に寄与するため、植栽や間伐等の森林整備を積極的に推進するとともに、それに必要な路網の開設や改良を実施したものである。 ・主な事業内容 <table><tr><td>森林整備</td><td>更新面積</td><td>59 ha</td></tr><tr><td></td><td>保育面積</td><td>1, 292 ha</td></tr><tr><td>路網整備</td><td>開設延長</td><td>1. 5 km</td></tr><tr><td></td><td>改良延長</td><td>4. 2 km</td></tr></table> ・総事業費 <table><tr><td>1, 347, 222 千円（税抜き 1, 238, 379 千円）</td></tr><tr><td>（平成 27 年度の評価時点 2, 772, 236 千円 税抜き 2, 566, 885 千円）</td></tr></table>			森林整備	更新面積	59 ha		保育面積	1, 292 ha	路網整備	開設延長	1. 5 km		改良延長	4. 2 km	1, 347, 222 千円（税抜き 1, 238, 379 千円）	（平成 27 年度の評価時点 2, 772, 236 千円 税抜き 2, 566, 885 千円）
森林整備	更新面積	59 ha																
	保育面積	1, 292 ha																
路網整備	開設延長	1. 5 km																
	改良延長	4. 2 km																
1, 347, 222 千円（税抜き 1, 238, 379 千円）																		
（平成 27 年度の評価時点 2, 772, 236 千円 税抜き 2, 566, 885 千円）																		

① 費用便益分析の算定基礎となった要因の変化	令和7年度時点における費用便益分析結果は以下のとおりである。 事前評価で算出した総便益及び総費用と完了後の評価で算出した総便益及び総費用の差異については、平成29年と平成30年に連続して発生した豪雨災害を受け、一部の地区で事業を見合わせざるを得なくなったことから、総費用及び総便益も減少したこと等によるものである。 総便益(B) 9,034,191千円 (平成27年度の評価時点 11,015,623千円) 総費用(C) 2,414,661千円 (平成27年度の評価時点 3,369,192千円) 分析結果(B/C) 3.74 (平成27年度の評価時点 3.27)
② 事業効果の発現状況	木材を伐採した後に植栽を行うことで山地の保全や二酸化炭素の吸収による地球温暖化防止の効果が期待され、植栽した後に下刈や間伐などの保育作業を行うことにより植栽木が健全に保たれ水源涵養機能等の公益的機能の維持増進が図られた。 保育作業においては、下刈回数の削減等によるコストの削減も図られている。 路網整備の実施により木材の搬出が可能となり、また、森林整備における作業の効率の向上が図られた。
③ 事業により整備された施設の管理状況	整備した森林は、適切に管理しており、良好な管理状況にある。 整備した林道は、適切に維持・管理しており、良好な状態にある。
④ 事業実施による環境の変化	本事業の実施により良好な森林が形成され、水源涵養、山地保全、木材の安定供給、地球温暖化防止等、様々な多面的機能が発揮されている。
⑤ 社会経済情勢の変化	森林整備事業を実行する段階において労賃などの人件費や資材の高騰などの情勢の変化が見られる中、森林整備の公益機能を保持しつつ、県産材利用拡大のため主要な樹種であるカラマツ材を安定的に供給する必要がある。
⑥ 今後の課題等	森林整備に当っては、傾斜が緩やかな場所における機械による地拵の検討や、引き続き下刈り回数の削減等、森林整備に係るコストを縮減する取組を継続させていくこと、ニホンジカ等による食害防止対策を進めて健全な森林を形成していく必要がある。 地元の意見： (長野県) 適切な森林整備により、水源涵養機能や山地保全機能等の公益的機能の持続的な発揮と併せ、量的及び質的な面での安定的な木材供給を通じた地域の林業・木材産業の振興に貢献しており、目的に応じた必要な森林整備や路網整備の事業が実施されている。 今後とも、計画に沿った着実な事業の実施に努めていただき、森林整備の推進や、今後の増加が見込まれる主伐後の再生林に係る伐採・造林一貫作業システムなどの低コスト造林及び獣害防止対策等、地域のニーズを組み入れながら山村地域の活力創造に向け民有林と一体となって取り組まれない。

森林管理局事業評価 技術検討会の意見	本事業により、水源涵養や山地保全等の森林の持つ公益的機能の維持増進が図られており、事業の効果が発揮されていると認められる。 今後も引き続き、森林整備や路網の維持管理を適切に実施するとともに、事業を通じて地域の振興に貢献していくことが望まれる。
評価結果	・ 必要性： 間伐等の森林整備やそれに必要な路網の開設、改良を通じて、公益的機能の持続的な発揮と合わせ、カラマツ等の木材を安定的に供給することにより、地域の林業、木材産業の振興にも寄与しており、必要性が認められる。 ・ 効率性： 森林整備に必要な路網の開設及び改良工事が実施され、森林整備実施箇所へのアクセスの向上を図るとともに、森林整備においては、下刈回数削減を図るなど、コスト削減が図られており、費用便益分析結果からも、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 森林資源の現況や路網の整備状況を踏まえた計画的な事業の実施により、森林の有する多面的機能の確保が図られ、引き続きその効果の継続が見込まれることから、事業の有効性が認められる。

様式1

便 益 集 計 表

(森林整備事業)

事業名：森林環境保全整備事業(国有林)

都道府県名：長野県

施行箇所：中部山岳森林計画区(中信森林管理署)

(単位:千円)

大 区 分	中 区 分	評価額	備 考
水源涵養便益	洪水防止便益	1,889,295	
	流域貯水便益	643,274	
	水質浄化便益	2,728,509	
山地保全便益	土砂流出防止便益	2,453,984	
環境保全便益	炭素固定便益	657,224	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	23,641	
	木材利用増進便益	738	
	木材生産確保・増進便益	356,150	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	903	
	森林整備促進便益	280,421	
維持管理費縮減便益		52	
総 便 益 (B)		9,034,191	
総 費 用 (C)		2,414,661	
費用便益比	$B \div C = \frac{9,034,191}{2,414,661} = 3.74$		

森林環境保全整備事業 中部山岳森林計画（長野県）事業概要図

森林整備事業（地拵 実施後）



奈川第一国有林 松本市

森林整備事業（植付実施後）

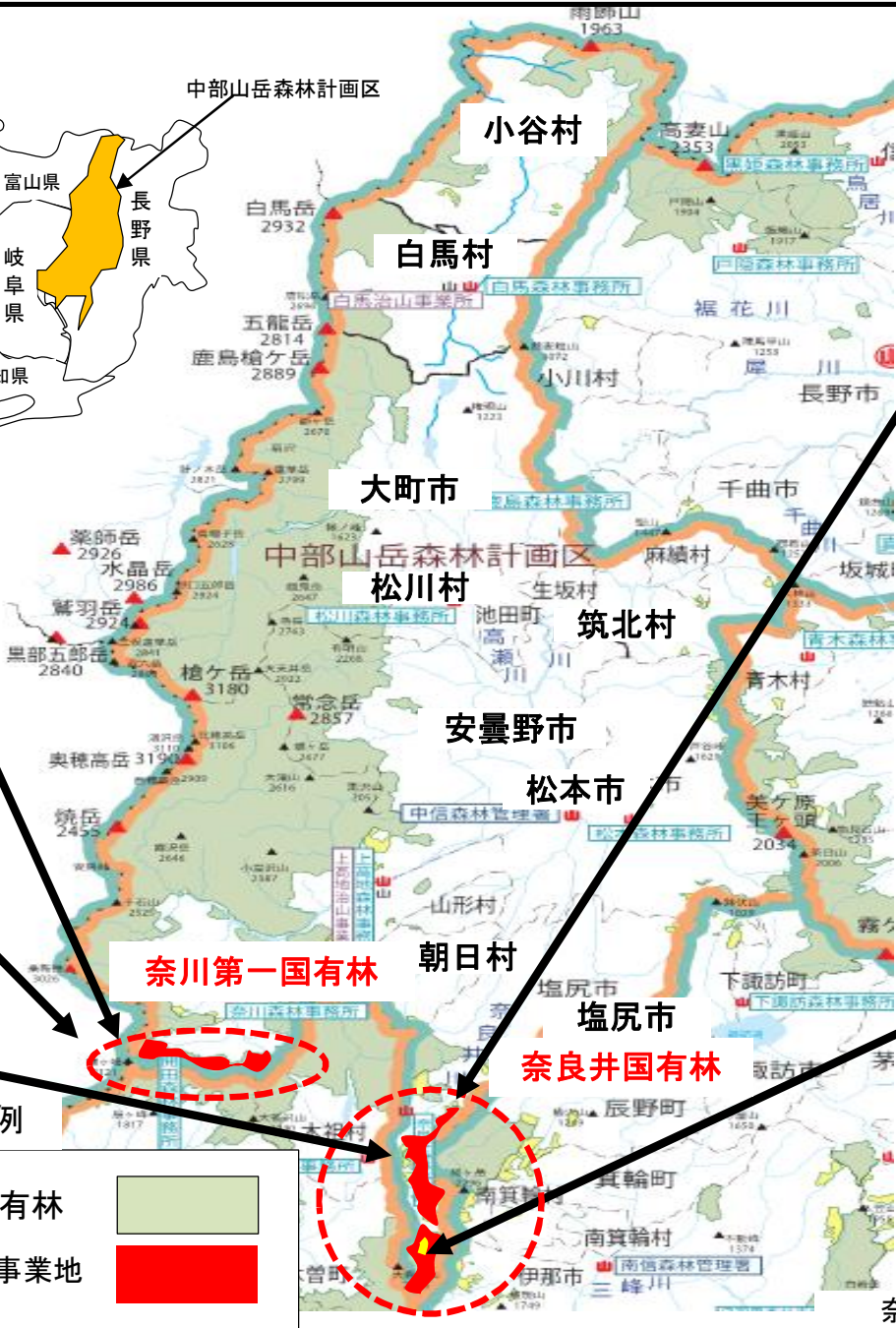


奈川第一国有林 松本市

森林整備事業（下刈作業中）



奈良井国有林 塩尻市



森林整備事業（間伐）



奈良井国有林 塩尻市

路網整備事業（林道新設工事）

（着工前）



（新設後）



奈良井支線新設工事（奈良井国有林塩尻市）